

令和8年度 第1回学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年5月14日（木）14時20分から16時10分まで
- 2 開催場所 和田小学校 会議室
- 3 出席委員 鈴木 剛司、太田 優子、神谷 みち子、齋藤 拓雄
鈴木 三雄、林 實、柵木 良太
- 4 欠席委員 安藤 小ゆり、太田 優子
- 5 オブザーバー 堀内 信広（天竜協働センター長）
- 6 学校 須藤 邦夫（校長）、米山 由紀子（教頭）、中西 伸（主幹教諭）
小粥 万祐子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 小粥 万祐子
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、林實委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1)授業についての意見交換
- (2)学校経営構想の詳細について
- (3)夢育やらまいか事業に対する意見書について

11 会議記録

司会の米山教頭より、委員総数8人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1)授業についての意見交換

会議前に授業参観を行い、それについての意見交換をした。

- ・ひまわり学級で、一人一人に先生が丁寧に指導していた。 (齋藤委員)
- ・全体的によく手が挙がっていて、先生の問いかけに対してもよく意見が出ていた。 (齋藤委員)
- ・6年生の授業では、同じ課題でも先生によって導入の仕方が違い、それぞれいい授業だった。 (齋藤委員)
- ・1年生の給食ボランティアでは、1年生がしっかりしていると感じた。 (神谷委員)
- ・1年生の授業でも、子供たちが集中して聞いていた。1年生の担任を経験している先生の成長も感じた。多少席を立ててしまう子もいたが、先生がしっかり対応していて、心配なさそうと感じた。 (神谷委員・鈴木委員・柵木委員)
- ・3年生と5年生でそれぞれ4人グループを作り授業をしていた。同じグループ活動でもやはり低学年と高学年の違いがあり、発達に合わせた授業だった。学年の成長を感じた。 (神谷委員)

- ・全体的にどのクラスもいいスタートがきれいていると感じた。(神谷委員)
- ・6年生の各クラスの学級づくりができていていると感じた。あるクラスは、ふざけているわけではない、余分な事を喋っているわけではないが、すごく楽しそうに授業を受けていた。先生の授業の仕方の違いにより子供の表れが変わるのかな、と感じた。

(神谷委員・柵木委員)

- ・ひまわり1.2の教室は、通常の教室を半分にして教室としているが、少人数とはいえ狭いのではないかと思った。(神谷委員)
- ・教室がしっかり整理整頓されていた。(鈴木委員)
- ・発言が活発でよかった、先生の工夫によるものだと思う。(鈴木委員)
- ・姿勢、鉛筆の持ち方がバラバラで気になった。(鈴木委員)
- ・5年生のクラスで褒め方が素敵だと感じた。(柵木委員)
- ・先生が子供と目線を合わせて話をしていた様子が印象的だった。(柵木委員)
- ・どのクラスもしっかりと話を聞いて、一生懸命に授業を受けていた。

(柵木委員・林委員)

- ・学校経営構想を拝見して、どのように実現していくのか、先生の負荷が大きくなるのではと思っていたが、3年生の授業を見て、経営構想に基づいた内容だと感じた。(林委員)
- ・6年生の社会の授業が、おもしろい授業だと感じた。先生が工夫されていると感じた。

(林委員)

(2)学校経営構想の詳細について

校長から令和8年度学校経営構想について説明があった。その後、各部担当教諭から詳細の説明があった。

- ・市の政策3・施策3の多様な支援スタッフの配置とあるが、どういうスタッフで、どういう年次計画で増員していくのか？(林委員)
- ⇒該当する職員は、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどである。在校から周辺学校へ派遣されている。今後も質と量の増加が見込まれる。(校長)
- ・異学年交流について、今年度は新しい事を計画しているか？(林委員)
- ⇒交流する場として、現在は、清掃活動・縦割り遊びや1年生を迎える会などの場がある。今年度も昨年度と活動の回数は変えていないが、質の向上をさせていく。(担当教員)
- ・異学年交流を行うに当たって、問題が起きる前にフォロー体制を整えておく必要があるのではないか。(鈴木委員)
- ⇒問題が起きたり、運営が大変だったりするので、他校では異学年交流は減っているのが現状であるが、和田小は児童間のフォロー含め交流ができる環境にある。何か問題が起きた時には、教員が全力でフォローする。(校長)
- ・保護者の立場として、全く知らない人にあいさつをするのは、どうなのか？わが子は、知らない人にも挨拶してしまうので、えらいとも思うが怖いとも思う不安を感じる。(柵木委員)

⇒挨拶は場所と相手を選ぶものだと思う。無制限にあいさつするべきであるとは思わない。
学校という場所ではみんなにあいさつをし、地域に出た時には、判断し、あいさつをする
必要がある。判断力を養っていきたい。 (校長)

(3)夢育やらまいか事業に対する意見書について

司会の教頭から、夢育やらまいか事業の説明があった。

昨年度と同様、キャリア教育の充実と命の大切さや情報モラルについて学ぶ場を設定する
ことに加え、子供たちのいのちを守るための安全教育を充実すべきことを意見書にまとめ、
提出することを確認した。

全員異議なくこれを承認した。

12 その他

◎ボランティアについて

神谷委員より、学校支援活動について説明があった。

令和6年度、令和7年度の支援活動の一覧を確認し、本年度も積極的に支援活動を行って
いきたいと伝えられた。

◎学校運営自己評価について

教頭より、学校運営自己評価についての説明があった。

令和8年度学校運営協議会の目標は、令和7年度の自己評価をもとに、「児童の豊かな学
びに結びつく地域人材を生かした活動や保護者や地域の方によるボランティア活動をさらに
進める。そのために地域の組織やPTA、学校職員との連携を今以上に深める。」とした。

◎その他報告事項等

次回の学校運営協議会は令和8年9月15日(火)に開催するとの報告があった。